

真田地区有線放送電話(S・Y・D)

の 歩 み



令和5年3月

上田市真田地区有線放送電話

真田地区有線放送電話

昭和 30 年代前半、広くて標高差のある真田町では、放送と電話を兼ね備えた有線放送施設の設置が久しく望まれていました。

昭和 35 年 2 月から関係者による先進地の視察が始まり、昭和 36 年秋に着工の運びとなり、翌 37 年 4 月に有線放送施設が完成しました。

真田町役場前に新築された中央放送室に 550W の放送機と 4 座席の交換機を据え、また、中央放送室から 16 km へだてた菅平支室に 50W の放送機と 1 座席の交換機を置き、更に、長・傍陽・本原の各農協にそれぞれ放送室を設けました。

町内ニュースや農事メモをはじめとする自主番組や地区放送、火事や急病人発生等の緊急時には夜半でも直ちに連絡が取れるなど、町民の日常生活になくてはならない施設となりました。

真田町農事放送農業協同組合により開始された有線放送電話事業は、昭和 43 年 4 月に真田町に移管され、平成 18 年 3 月の市町村合併後は上田市真田地区有線放送電話として事業を継続してきました。

設備や機器等については、昭和 45 年に自動ダイヤル式有線放送電話に、平成 2 年には現在の有線放送電話設備(デジタル交換機、単独回線)へと更新がされてきました。

しかし、現在では、機器等の老朽化に加え、世代交代や後継者の不在による脱退、また、パソコンや携帯電話、スマートフォンの普及など情報化社会の著しい進展に伴い、加入者の減少が進み、事業の継続が困難となったことから、令和 4 年度末で約 61 年の有線放送電話事業の歴史に幕を閉じることとなりました。

[経過]

S36.12	真田町農事放送農業協同組合創立総会 真田町一円で有線放送電話業務を行うことを議決
S37.5	有線放送電話業務開始 加入戸数 2,562 戸、加入率 95% (岩崎通信機 KK) 建設費 29,782 千円 (開設までの総工費 30,651 千円) 設備 共電式 本部と菅平支室を設置 職員数 理事会 11 名、監事 3 名、企画委員会 16 名 事務局: 中央放送室(本部) 13 名(事務 4 名、アナウンサー 9 名) 菅平支室 3 名(アナウンサー 3 名)
S37.11	町内一周駅伝大会の実況放送を初めて行い、加入者の反響を呼ぶ
S39.9	長野県有線放送番組コンクールに「ある開拓農家の子供たち」を出品、優秀賞獲得
S40.1	全国有線放送アナウンスコンクールに当アナウンサー(県コンクールで最優秀賞)が出演し、放送技能賞獲得
S42.2	菅平支局を本部に統合 放送交換業務の円滑化と人件費削減を図る
S42.12	真田町農事放送農業協同組合から申し出のあった有線放送施設の町営移管受入を町議会で議決
S43.2	真田町農事放送農業協同組合臨時総会を開催 3 月 31 日をもって組合を解散し、有線放送電話事業を町へ譲渡することを決定
S43.4	施設を真田町に移管、業務開始
S44.4	自動式有線放送電話設置工事を東芝商事 KK と契約 81,500 千円
S44.7	本部建物増改築工事を宮島組と契約 3,900 千円
S45.3	自動ダイヤル式有線放送電話に更新(多数共同方式)、放送通話開始 なつかしい「番さん」という呼び出し時代が終わる
S45.8	公社(日本電信電話公社、現在の日本電信電話株(NTT))電話との接続業務を開始 接続局 24 局 1 日平均接続回数 489 回
S45.12	長野県有線放送番組コンクールで優秀賞を受賞した番組「農協の時間」が全国有線放送番組コンクールで優秀賞獲得

S47.8	8/14 公社接続回数最高を記録 1日で1,491回 昭和47年、48年は公社接続の最盛期であったが、その後公社電話の普及により接続回数は年々減少する
S52.4	深夜の公社接続廃止 1日276回
S53.11	自動放送と地区放送(ページング放送)装置を設置(9,540千円)、運用開始 自動放送は、約3日間留守でも放送可能 地区放送は、各自治会、役場、学校、保育園、農協など51ヶ所から放送可能
S54.7	有線放送本来の目的である放送の強化に合わせ、番組表「今月のゆうほう」を刊行
S56.3	公社接続業務を廃止 3月の1日平均接続回数が18回と激減
H2.7	有線放送電話設備(デジタル交換機、単独回線)更新、供用開始 有線放送電話設備 施工 岩崎通信工事(株)北信越営業所 契約額399,640千円 分局建物 施工 岩通エンジニアリング(株)北信越営業所 契約額11,989千円
H12.4	(株)長野県協同電算JANISによる有線回線を使ったADSLインターネット接続サービスを開始
H15.4	有線放送管理装置及び自動放送装置の更新(放送番組編集のデジタル化)
H18.3	上田市・丸子町・武石村との市町村合併により、上田市真田地区有線放送電話として事業を継続
H21.12	真田地区有線放送電話審議会において有線放送電話の今後のあり方について審議 答申「現行設備を維持し、存続されたい」
H27.3	真田地区有線放送電話審議会において有線放送電話の今後のあり方について審議 答申「引き続き現行設備を維持し、存続されたい」
H28.3 ~5	加入者アンケート実施(対象:個人加入者2,024件、回答:1,210件 59.8%) ・放送機能を更新して、放送機能は残す:50.5% ・現在の電話・放送機能を使えるまで使う:48.7%
H30 ~H31	真田地区有線放送電話審議会において有線放送電話の今後のあり方について審議 (6回開催)
R2.3	真田地区有線放送電話審議会答申 「利用者への十分な周知を行い理解を得て、事業廃止すべきと判断される」
R2.8	真田地域全自治会を対象に事業廃止について意見聴取 ・賛成(通話機能廃止・放送代替整備含む)79% 反対21% ・廃止の懸念事項:自治会内情報伝達手段喪失45% 防災・緊急情報周知41%
R2.10	真田地域協議会から事業廃止について「概ね了承する」との意見書が提出される
R3.1	真田地域の地区別自治会連合会総会で事業廃止について説明 市政経営会議において、令和4年度末をもって廃止とする市の方針を決定
R3.3	上田市議会全員協議会において、真田有線放送電話事業の廃止について報告
R4.2	(株)長野県協同電算JANISの真田有線ADSLインターネット接続サービス終了
R5.3	上田市真田有線放送電話事業終了

[業務量の推移(年度末時点)]

事項	S61	H2 (設備更新)	H11	H21	H30	R1	R2	R3	R4 (最終)
加入件数	2,871	2,815	2,846	2,585	2,029	1,951	1,869	1,754	1,682
(増減)	-	-56	31	-261	-556	-78	-82	-115	-72
加入率(%)	99.7	92.8	79.5	66.8	49.9	48.2	46.3	43.5	41.2
(増減)	-	-6.9	-13.3	-12.7	-16.9	-1.6	-1.9	-2.8	-2.3
世帯数	2,879	3,033	3,582	3,867	4,070	4,044	4,037	4,032	4,082
お知らせ放送件数	1,618	1,471	951	920	815	897	740	722	703
ページング放送件数	723	675	701	690	667	649	350	294	295
インターネット加入件数	-	-	-	640	197	150	123	-	-

昭和 38 年 「真田町勢要覧」から



真田町農事放送農業協同組合



交換室と放送室

昭和 57 年 「上小有報 20 年のあゆみ」から



真田町有線放送本部の全景



公社接続の最盛期だった頃の交換台

令和4年12月 真田地区有線放送電話 本局



本局

真田地域自治センター



放送室



録音・編集室



機械室



なんと忙しい 有線放送 利用激増の一途

新農事業で五月から開局した町の有線放送は、鳩が豆を拾うような忙しい毎日となっている。申込み時間に待たせないように機関銃のように速に動く、別室ではつぎのニュースの原稿と録音に時間になく派動する心臓になった。

長野県下には有線放送は十六万戸ある。その中でここは日本一高い放送地だ、菅平千四百米の高原というわけだ。ようやく発足したばかりで馴れない係であるだけに、利用する人たちには可愛がってもらいたいもの



— S N K 放送局 —

第1回 定例町議会

有線は町で管理

一般 会計 二億六千八百二十四万円

農業構造改善事業着手

- 昭和四十三年の第一回目の定例町議会が、三月八日から十九日までの十二日間開かれました。
- 四十三年の一般会計予算、有線放送電話事業の町移管に關する条例など、四十六の議案、町道舗装についての請願一つについて審議しました。
- このうち主なものを紹介します。

有線の精算おわる

財産は真田町へ

真田町農事放送農業協同組合の日をもつて解散しました。精算がこのほど終り、財産(借入金)内容は別表のとおりです。金一千万円含む)一さいが町へ譲渡されました。

有線コーナー

町の有線は、昭和三十七年四月から農事放送協同組合によって経営されてきましたが、より一層合理的な運営をするため、町へ移管することになり、二月十九日開催の臨時総会の決議に従って三月三十一が五月上旬完成した。請負いは丸た。

本原地区の幹線改修

農業相談室テレビで紹介

プログラム一部改正

五月一日から朝七時十五分から十分間、新たにお知らせ放送の時間を設けた。また、午後のお茶のひとときにはラジオニュースを五分間中継放送する。

毎月十日におこなっている「有線農業相談室」が五月二十二日午後八時五十分からNHK総合テレビ「ニュースの前に」で紹介され

登録業株式会社で事業費合計百三十九万五千円。

はじまった有線自動化工事



加入者40戸増える

来年からはダイヤルで

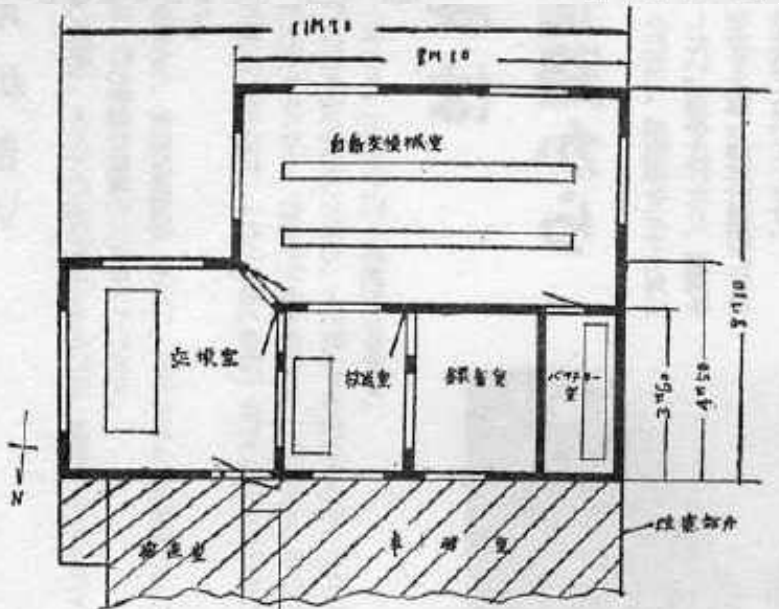
工費八千五百万円

- 有線の自動化工事ははじまり、いま、電柱の裡
- てかえがおこなわれています。
- 九月までには、電柱裡をおおえて来年一月から
- はダイヤル式の受話器で放送や通話ができるよ
- うになる予定です。



新しいダイヤル式受話機

町の有線を自動ダイヤル式に改修する工事は、四月八日に八千



新しい有線本部の平面図

五十万円（建物除く）で東芝商事株式会社が請負うことになり、工事によりかかりました。工事は、これまでに水田地域の二百五十本を建てたあと、菅平区から順に電柱建てをおこないますが九月はじめまでには、新たに二千二百五十本の柱を建てることとなります。

いっぽう、同じく九月までには現在の本部建物の南側に、二十四・七坪のブロック平屋建てを増築ここに四百回線の自動交換機を据えます。ケーブルの架線、宅内配線工事もおこなわれて、試験放送通話ができるようになるのは来年一月一日の予定です。

一月は新旧二台の受話器を置く

機械の調整が終って、現在の古い受話器を取りはずすのは一月末の予定です。それまではおおよそ一か月の間新旧二台の受話器を並べて使うこととなります。

公社接続は三月頃か？

工事がすんで、機械の調整が終ったところで、電々公社の検査をうけてから公社電話とつなぐことができますようになります。他の例から見ても真田町の接続が開始できるのは早くも三月頃の見込みです。

加入台数は四十一戸増えて二千六百六十台となります。

一回線当りの平均は

七・七戸

これまでは、一回線当りの平均加入者数は十五戸であったので、「お話中」ということがしばしばありましたが、これをかんわするため、はじめの計画より更に回線数を増やし、一回線は最低六戸最高九戸、平均七・七戸となります。

なお、投場、農協などのほかにも商店などで二十戸が専用回線をもつこととなります。

3月1日から

自動有線に切りかえ

機械調整も順調にすすむ

有線の自動化工事が近く完成し、からは古い有線の電線を切って、二月二十二日から試験通話が、ダイヤル式に切りかえることになり、きるようになりまし。

去年五月からはじまった有線自動化工事は人手不足のために予定とに自動式有線の使用方説明会がより遅れましたが、機械の調整も、おこなわれていますがそのあらま順調にすすみ、いよいよ三月一日は次のとおりです。

使い方は

むづかしくありません

呼び出し音はトンリンガー

もうお聞きになっているように、さわりがよくて、しかも速くまで呼び出し音は「ブル、ブル、ブル、ブル」と聞こえる特徴をもっています。「というあまりなじみのない音で、これからは、踏切りなどのカネの音も次第にトンリンガーに改良されてゆくといわれます。

ダイヤルは戻るときが

大事です

電話をかけるときに、受話器をとると、「ブー、ブー、ブー」という発音音がきこえます。ダイヤルをまわしてもよいという合図です。

相手の番号をしっかりとしかめてダイヤルしてください。ダイヤルは戻るときに本部の機械が動らく仕組になっていきますので、戻るときは完全に指を離さなくてはなりません。戻るときに指をはなさない機械は相手を聞きがちがえたり故障したりしますから注意してください。

同じ回線の人が

使っているときは

三角窓は、赤

電話をかけたあと、受話器をとったときに受話器の左下の三角窓が赤になるときは、同じ回線のどなたかが使用しているのです。このようなときは、一旦受話器

火災・緊急連絡は

どうするか

同じ回線が話中であっても火災、火災・緊急車は一一九番、緊急連絡は一一〇番です。また、火災・緊急車は一一九番、緊急連絡は一一〇番です。あなたも一旦受話器をかけたから再び受話器をとってください。三角窓が白にかわり、「ブー、ブー」という発音音の出るのをたしかめてから一一〇番へダイヤルしてください。

自動有線放送時間表

(45年3月1日改正)

時 間	内 容
午前 6:00~6:15	放送開始 お知らせ 真田町体操
7:00~7:15	NHK ラジオニュース
午後 0:00~0:30	NHK ラジオニュース お知らせ 農協放送
3:00~3:15	お茶のひととき
5:00~5:07	レコード(タヤけ) 真田町体操(4月~9月は6時から)
9:00~9:15	お知らせ 放送終了

上の時間は放送時間です。この時間以外は自由に通話ができます。

次の場合には放送時間が長くなることがあります。

- (1) 農業相談室、議会放送、その他自主番組のある日は戻または夜の放送時間が長くなります。
- (2) 部落別放送の特に多いとき。

相手の番号をたしかめてから

受話器をとりましょう

自動有線の特徴はいつでもなく、人間の交換手の仕事をキカイがおこなうことです。

相手の番号があいまいなときは、番号問い合わせ(六番)へダイヤルして、しっかりとしかめてからかけるようにしてください。受話器をはずしたまま番号を捜したりしてしまいますと発音音が話中音にかわってしまいいったん受話器をかけた後にかけることができなくなりやすから、ご注意ください。

仮番号簿の脱落者

このほど配られた仮番号簿から次の方のお名前が脱落してしまいました。おわびいたします。

三月一日から

番組を改正

坂井沢正 四六六九
なお、商店名の追加や名義変更は正式の番号簿をつくる際にもう一度ご希望をまとめた上で掲載することになります。



有線コーナー

二月十七日からはじまった自動有線の使用方説明会は、各区公民館とも出席者が多く、穂高電子大日、向工場でも工場から希望があり二月十八日の午後ひらかれ好評でした。

上小地方の自動有線は、真田町のほか、東部町、川西村、完成、上田市、青木村、工事中、長門町、測屋中、見やすい番号簿をこの夏発行します。

自動有線の番号簿は、まだ公社接続をする公社番号が決定してないことなどから仮番号簿を発行しました。

八月頃までには、もっと見やすい正式の番号簿を発行する予定です。

午前 6:00~6:30	「お知らせ」
7:00~7:15	「時報・ニュース」 「今日のニュース」
10:00~10:05	「レコード放送」
正午12:00~12:30	「時報・ニュース」
	「お知らせ」
午後 3:00~3:20	「時報・ニュース」
	「お茶のひととき」
5:00~5:05	「こどもの時間」
9:00~9:30	「お知らせ」 「やまびこニュース」
	「番組放送」

町の有線放送ではきめ細かな加入者サービスと放送面での充実や運営の合理化を図るため自動放送装置を導入しました。
この装置は無人でも放送ができるもので、十一月一日からテスト放送が行われていましたが、二十日から本放送が行われるようになりました。自動放送では、あらかじめ録音テープに録音した音声が発送されたり、時報やニュース中継も自動的に行うことができ、三日間は無人でも放送することができ、次に伴ない放送時間も次のように変更になりました。

自動放送装置を導入

有線放送の合理化図る



十一月二十日から本放送が始まった自動放送装置

部落放送装置も導入

この装置については、区民の皆さんにお知らせをしたい時等使用するものです。例えば区長さんが区の総会のお知らせをしたい時は、公民館にいき、八番をダイヤルして、お知らせしたい事を話すとそのとおりに区内に放送が流れます。では、簡単に部落放送の使い方をお知らせしましょう。

- 1 受話器を上げ八番をダイヤルしてください。
- 2 「ピー」という音が三秒間きこえます。
- 3 電話器から出ているこの「ピー」という音が止んだら、受話器の話し口に発信器をあて発信器の赤いボタンを押します。発信器の小さいランプが点灯し、「ピー」という音が出ます。ランプが消える

この装置については、区民の皆さんにお知らせをしたい時等使用するものです。そのまま待ちます。

(発信器がなければこの部落放送は使えません。発信器は各区長さんが持っています。)

- 4 受話器を耳にあてますと、受話器から「放送の用意ができました。この音楽が終わったらお話しください」
- 5 この案内が終わったら放送したい事柄を話し口へ話してください
- 6 話が終ったら受話器を電話器にもどしてかけてください。
- 7 そのまま待ちますと放送開始の音楽のあとに、いま話した事柄が放送されてきます。

以上が大まかな使用方法です。一度話した事柄は有線本部のテープに録音され、巻き戻され放送されるしくみになっています。

☆町の有線放送施設が生まれ変わりました☆



町有線放送の設備更新が終わり、7月1日から新しいシステムによる放送・通話を開始されました。

一部のご家庭では、「通話ができない」「放送が聞こえない」などのトラブルがありました。ご迷惑をおかけいたしました皆さまに、おわび申し上げます。

ところで、皆さまから寄せられるお問い合わせの中に、「相手の声が小さくて聞き取れない」というものがありますが、そんな時には、左図(受話音量)のボタンを押してください。(2回押すと元に戻ります)

・放送の申し込み方法・

有線放送電話原稿用紙に書いて申し込んでください。ただし、簡単なお知らせなどは電話でもお受けしますので、2121番か115番にお申し込みください。

受付時間 平日……午前8:30~11:00 午後1:00~2:00
土曜日…午前8:30~9:30

(※ただし、日曜、祭日、第2・第4土曜日はお休み)

・故障、移転の申し込み方法・

「通話ができない」「放送が聞こえない」などの故障が起きた時は、115番か2121番へご連絡ください。

また、家の新築や改築にともない、電話機、スピーカ一などを移転なされたい時には、お早めに115番へご連絡ください。





5月のゆうほう

No.71

真田町有線放送室

日 曜	番組名	タイトル	放送時間	出演者
1 水				
2 木	政府の窓	教育改革と臨教審	夜9時	総理府提供
3 金	有放農業通信	凍霜害対策について	夜9時	産業観光課中村課長補佐
4 土	たのしい童話	夜の池	午後5時30分	表木区 渡辺小町さん
5 日	学校だより	課外を見て	午後5時30分	真田中学校
6 月				
7 火	生活のしおり	緑黄色野菜を食卓に	夜9時	中沢生活改良普及員
8 水	マイク訪問	23年間の思い出	夜9時	元真田中学校長井一成先生
9 木	政府の窓	あなたの行政相談委員	夜9時	総理府提供
10 金	有放農業通信	春の農作業安全について	夜9時	農業機械士酒井喜一さん
11 土	たのしい童話	ルミちゃんの赤いリボン	午後5時30分	大畑区 宮崎か代子さん
12 日	学校だより	5年生になって	午後5時30分	長小 小学校
13 月				
14 火	みんなの健康	乳房検診をうけましょう	夜9時	武捨保健婦
15 水				
16 木	政府の窓	大豆の播種をひかえて	夜9時	総理府提供
17 金	有放農業通信	稲の当面の管理について	夜9時	普及所
18 土	たのしい童話	かっぱのくれたかめ	午後5時30分	真田区 宮下蘭子さん
19 日	学校だより	29人の仲間(5年生)	午後5時30分	本原小学校
20 月	みんなの健康	家庭精神衛生	夜9時	上田保健所長宮尾三郎先生
21 火	私の自慢料理	紅玉ケーキ	夜9時	中原区 田子栄子さん
22 水				
23 木	政府の窓	心身症とその予防	夜9時	総理府提供
24 金		農業相談室	午後0時15分	営農相談員
25 土	たのしい童話	あぜ道	午後5時30分	戸沢区 柳沢紀子さん
26 日	保育園だより	合同保育	午後5時30分	傍陽保育園
27 月				
28 火	みんなの健康	子供とともに(3才まで)	夜9時	教育委員会岡村美津子先生
29 水				
30 木				
31 金	有放農業通信	当面の野菜管理について	夜9時	長農協 唐沢技術員

※翌朝六時(童話は翌日の午後三時・農業相談室は当日夜九時)に再放送します

5月1日から

朝のテーマが
「牧場の朝」

になりました。

有線放送電話に新しく加入されました

3月31日現在

有線放送電話	
加入戸数	2786
電話器数	3022
拡声器数	5

よろしくお願ひします